

年月日 平日＝2012年04月19日（木・晴）＝23名
休日＝2012年04月22日（日・晴）＝6名

回数 2010年＝第23回巡礼（結願）、2011年＝第11回巡礼

●四十四番札所 広台寺（こうだいじ）

本尊・聖観世音菩薩 山号・湯谷山 宗派・曹洞宗 草創・不明
・創立年代は不明で、言い伝えによると、創建当時は桂昌庵と称し、蓮台寺温泉の郊外の高台にあった1612(慶長十七年)僧、宗逸により、現在地に移され、曹洞宗、湯谷山・広台寺となる。

●四十五番札所 向陽院（こうよういん）

本尊・地蔵菩薩 山号・三壺山 宗派・臨済宗・(建長寺・末寺) 草創・1403(応永九年)
* 比叡山の学僧・阿闍梨が虚空蔵菩薩、地蔵菩薩の二菩薩を本尊として、地蔵密院と称し、創建した。その後 1492(明応元年)鎌倉・建長寺より、僧、宣梅が臨済宗・向陽院として再興する。

●四十六番札所 米山寺（べいさんじ）

本尊・薬師如来 山号・砥石山 宗派・無属（宗派に属さない） 草創・733(天平五年)
* 日本三大薬師の一つ米山薬師
* 本尊の薬師如来は行基の作で、越後、伊予、伊豆の三ヶ所にあり、三大薬師といわれる
本尊の開帳は六十年に1度、半開帳は三十年に1度です。
* 米山寺と名付けられているが、宗派に属した寺ではありません
地区の方々が管理している、石段を登った所に本堂があり、五百ほどほど登ると奥の院があります。

●四十七番札所 龍門院（りゅうもんいん）

本尊・青面金剛明王 山号・保月山 宗派・曹洞宗 草創・草創・1099(康和元年)
* 通称、相玉の庚申さん
* 創立当初は真言宗の小さな草庵で、山上で見つけた仏像を安置し、相玉の龍門寺と名付けていた
後年この仏像が、「青面金剛明王」と判り大節に安置されていた、その後衰退していたが1593（文禄二年）太梅寺四世・法山宗禅が、再興し曹洞宗に改宗され、現在に及ぶ古刹です。

距離 約3.5Km＋約1.5Km＋約3Km＋約2.5Km＋約4Km＝約14.5Km

タイム 下土狩 5 : 3 5 —天城峠—下田発 7 : 2 0 —広台寺 8 : 0 5 ~ 2 5 —向陽院 8 : 4 0 ~ 5 5 —米山寺 9 : 3 0 ~ 4 5 —龍門院 1 0 : 2 0 ~ 3 5 —おふくろまんじゅう 1 0 : 4 5 ~ 1 1 : 0 0 —加増野地先 1 1 : 3 5 —下田・外浦「廣和荘」(結願会) 1 2 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 —三島

温泉 下田・外浦「廣和荘」入浴・休憩 = 1 0 0 0 —



1. 広台寺 8 : 0 5

2 0 1 0 期の方は、今日が結願だった。2 年は早いものだ。

早朝、下田駅前を出発し、広台寺に向かう。広台寺は蓮台寺にある。ここは温泉が豊富な所。駐車場入口には、足湯ならぬ手湯があった。境内に入って行くと、毎回だが紅白のシャクナゲ咲き競っていた。



2. 向陽院 8 : 4 0

広台寺から北に向かう。まもなく千人風呂「金谷旅館」前を通過。

向陽院は、この先にある。

二年前、本堂の屋根・中・階段などが工事中だったが、工事は終了し立派になっていた。

住職はお元気で綺麗になった寺が嬉しそうだった。

ご本尊真言が、本来と違うようで訂正をお願いされた。



向陽院住職



お吉ヶ淵付近



米山寺



3. 米山寺 9:30

米山寺は無住職寺。従って、過去二回、お勤めは外だった。

しかし寺に上って行くと何やら賑やか。聞けば毎月19日は、檀家の方がお勤めをする日で、皆さん集まっているとのこと。5年目で初めて本堂に入り、お勤めを果たせた。従って、ご朱印もここで貰うことが出来ました。



おふくろまんじゅう



平日班



休日班



結願証授与

廣和荘御夫婦



4. 外浦「廣和荘」(結願会) 12:00

巡礼は11:30で終了し、外浦の「廣和荘」で、結願を祝う会。2010期修了者は9名。うち、完歩・皆勤の「結願者」は、4名だった。

入浴後、持ち寄りの料理、廣和荘の刺身・サザエ壺焼・金目の煮付けなどで乾杯。

終了・結願者をお祝いし、2年の労をねぎらった。

また、

今後も続く巡礼の安全・躍進・発展を祈願した。